

ネオリバー泥パックIW 試験施工

目 次

1. 試験施工の目的	1
2. 試験施工内容	1
3. 試験施工作業工程	2
4. 試験施工機材	3

三彩化工株式会社

1. 試験施工の目的

現場にて『ネオリバー泥パックIW』が対応できるかを確認する。
剥離剤トータル使用量・放置時間・1回当たりの塗付量を算出する。

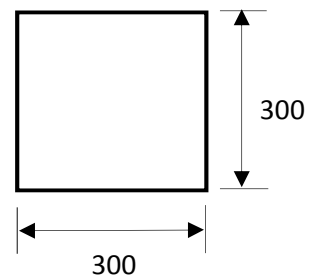
2. 試験施工方法

1) 試験施工箇所の確定 既存塗膜の劣化が異なる為、外壁の四方(東西南北)で試験施工を行う。
一面のみ試験施工を行う場合、あまり劣化されていない面を選ぶ。

2) 対象塗膜厚の確認 現地テストの際に塗膜の厚さを確認する。

3) 塗付箇所 試験部位面積は、30cm角で行う。施工現場の状況により変更。
1箇所もしくは塗付量を変えて2箇所行う。

4) 塗付量 塗膜の厚さ以上の剥離剤を塗付する。
例) 塗膜の厚さ1mmの場合、剥離剤を1mm以上塗付。
塗付量を変えて行う場合、剥離剤1mmと2mmなど。
剥離剤1mmで塗付量は約1.0kg/m²。



5) 塗付方法 万能ガン・刷毛

塗付量確認

<ウェットゲージ> 剥離剤を塗付し、ウェットゲージにて塗付量を確認する。

1mm=1,000 μ (ウェットゲージの1,000)、2mm=2,000 μ (ウェットゲージの2,000)

<重量> 剥離剤の重量を量って塗付量を確認する場合、

30cm角に約100gで約1.0kg/m²換算、30cm角に約200gで約2.0kg/m²換算

6) 養生 マスカー等による養生

7) 放置 48時間以上放置

8) 旧塗膜除去方法 刃付スクレーパー・カワスキ等

寒くなると剥離剤が効きにくい為、
放置時間を長くする必要があります。
48時間の放置で効きが悪い場合は
さらに24時間放置して下さい。

9) スケジュール

	1日目	2日目	3日目	4日目
準備	●			
剥離剤塗付	●			
放置	→			
掻き取り			●	●

懸念事項

標準は1回作業。ただし、1回の作業で下地まで剥離が行えない場合がある。
風雨による、剥離剤及び剥離剤を含んだ塗膜の脱落。
効率よく、剥離剤の塗付・ケレンを行える工具の選定。
剥離後の残存物にアスベストが含有している場合がある。

3. 試験施工作業工程

作業順序	作業のポイント	安全のポイント
塗付箇所周辺養生	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要な箇所に付着しないように養生する。 ・特に足場の隙間から、漏れないように目張りを行なう。 ・塗付位置・面積を確認しながら仕切りテープを貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護帽・安全帯の着用。 ・足元に充分注意する。 ・キャップライトを着用する。 ・投光器を設置する。
既存膜厚の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・既存膜厚を確認する。 ・状況写真を撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護帽の着用。 ・足元に充分注意する。
塗付準備	<ul style="list-style-type: none"> ・主体足場上にブルーシートを敷いて剥離剤・万能ガン等を用意する。 ・照明を充分に確保して作業する。 ・作業手順の再確認を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手元・足元に十分注意する。
剥離剤塗付面積 剥離剤の計量確認	<ul style="list-style-type: none"> ・計量前に剥離剤を充分に攪拌する。 ・剥離剤の計量する。(塗付量を重量で確認する場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防護眼鏡、保護マスクを着用する。 ・手袋は、剥離剤に侵されない材質のものを着用する。 ・剥離剤が飛散しても良いように長袖を着用する。
剥離剤塗付	<ul style="list-style-type: none"> ・設計量を塗付する。 ・万能ガン・刷毛などを使用する。 ・ウェットゲージで塗付量を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足場、足元の確認。
2晩放置	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な資機材は、速やかに片付ける。 ・最低48時間以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛散物のないように注意する。
翌日旧塗膜除去	<ul style="list-style-type: none"> ・刃付スクレーパーなどで旧塗膜を除去する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・刃付スクレーパーで怪我をしないよう充分注意する。 ・保護帽、防護眼鏡を使用する。 ・足元が滑りやすいので充分注意する。
除去塗膜清掃片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・除去塗膜は、アスベスト廃棄袋に集積する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者がむやみに触れないよう防護措置をする。

塗膜残の場合は作業繰返し



4. 試験施工機材

使用資機材一覧表

資機材名称	仕様	数量	備考
ネオリバー泥パックW		適量	
ウエス		適量	
マスキングテープ	現場適用	適宜	※養生他
メジャー		1本	30cm角作成の為
養生テープ		適宜	※養生他
ガムテープ	布製	適宜	※養生他
マジック・チョーク		適宜	※膜厚記入用
ウェットゲージ		1本	
計量用台秤		1台	※重量による塗付量確認
計量カップ		1ヶ以上	※重量による塗付量確認
万能ガン・刷毛		1本以上	
刃付スクレーパー		適宜	※旧塗膜除去用
ホーキ・ちりとり		各1本	
投光器		1台	※現場状況に応じて
アスベスト廃棄袋・ポリ袋		適宜	※旧塗膜回収用